

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市議員

発行：2020年11月8日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



所得の低い市民いじめ、行財政審議会の先取り

市民税減税制度廃止力あわせてストップを!!



11月8日に馬場府議員とともに、桃山南から小栗栖・醍醐地域8か所で、街頭宣伝を行いました。今まで市民税が非課税だった人約5万人に対して、市民税減免制度を廃止しようとしています。所得の低い方への増税は、1億6千万円になります。その上、非課税から課税になれば、京都市の試算でも57項目もの様々な

福祉施策に影響が出てきます。その負担増は13億2千万円にも上ります。例えば、入院などでの高額療養費の負担が2倍以上になる方も出てきます。介護施設に入所されている方の負担が2倍になる場合もあります。払えなければ施設を退所しなければなりませんから、介護難民が続出する可能性があります。

西野さち子市議は「こんな市民いじめは絶対に許せません。9月市会は継続審議になりましたが、与党は24日にも採択する構えです。与党を支持されている方も一緒に声をあげ、ストップさせましょう！」と訴えました。

議員日誌

市民のみなさんの願い実現へご一緒に動きます!!

くらしの足を守ろう

交通問題伏見交流会に参加しました

元向島中学校跡の「むかちゅうセンター」で、伏見区公共交通の改善を進める会主催の交流会が開かれました。向島や藤城、淀、桃山南など、交通不便地域の運動の交流が行われ、醍醐地域からも参加し、コミバスが走るまでの運動の経験を報告しました。

その後、立命館大学名誉教授の土井靖範氏から「地域の交通と交通権」と題して、基調報告が行われました。「フランスでは国民の交通権を保障するために、

従業員30人以上の企業から交通税を払ってもらい、財源に充てている。ヨーロッパでは、公共交通は赤字が当たり前。儲かる方がおかしい。と言うのが常識」

「東京の武蔵野は小型循環バス、ムーバスを走らせた結果、住みやすいと人口が増えている」などの報告があり、「実現するまで粘り強く頑張りましょう」と締めくくられました。



民主主義・学問の自由を守れ 11. 3憲法集会

円山野外音楽堂で「11. 3憲法集会 in 京都」がコロナ感染防止対策をとり開かれました。細胞生物学者で歌人でもある永田和宏さんによる「コロナ危機から見える社会と憲法」と題しての講演がありました。日本学術会議の任命拒否問題について「学者の問題だけではない、日本の民主主義を守る問題として670を超える団体や有志から抗議の声が上がり、増え続けている。」

「学問、科学は批判的精神が無ければ成り立たない。学術会議が政府の中にあることに意味がある。政府の暴走を止める役割がある」等、分かりやすく、話され「人事介入させない事。妥協しない事。忘れない事が大事」と強調されました。



議会レポート

来年度予算への要望書を提出 副市長と懇談しました



新型コロナウイルス感染症の影響で市民生活は深刻です。コロナ対策とあわせ、災害対策、医療福祉、くらし、営業、教育、公共交通、若者、文化などを含め、398項目の要望を申し入れました。その後、団長・副団長・幹事長・政調部会議員が副市長と懇談をしました。